

令和4事業年度
保健医療情報会計

財 産 目 録
貸 借 対 照 表
損 益 計 算 書
キャッシュ・フロー計算書

社会保険診療報酬支払基金

令和4事業年度保健医療情報会計 事業状況報告書

※ 保健医療情報会計に係る事業状況報告書については、審査支払会計の事業状況報告書に含めて記載しております。

令和4事業年度保健医療情報会計 情報基盤運用勘定

財 産 目 録 貸 借 対 照 表 損 益 計 算 書 キャッシュ・フロー計算書

※ 当勘定では、主に医療保険者等中間サーバーによる情報連携等の運用を行ってきましたが、当該業務に加え、オンライン資格確認に係る運用業務等も取り扱うこととなり、より事業内容に則した勘定名とするため、「社会保障・税番号制度勘定」から「情報基盤運用勘定」へ勘定名を変更しました。

令和4事業年度保健医療情報会計 情報基盤運用勘定財産目録

(令和5年3月31日現在)

資 産 の 部			
区 分	内 訳		金 額
	摘 要	金 額	
		千円	千円
流 動 資 産			3,852,553
現金及び預金			3,740,711
	普通預金	3,740,711	
未収負担金			106,824
その他の流動資産			5,017
	その他の未収入金	5,017	
固 定 資 産			59,831
有形固定資産			3,189
建物附属設備			3,196
減価償却累計額			△ 350
工具器具備品			429
減価償却累計額			△ 85
無形固定資産			35,799
ソフトウェア			35,799
投資その他の資産			20,842
前払年金費用			9,145
敷金・保証金			11,696
資 産 合 計			3,912,385

負債の部			
区分	内 訳		金額
	摘 要	金額	
流動負債		千円	千円
未払金			499,876
賞与引当金			474,381
その他の流動負債			20,633
			4,861
	未払費用	3,012	
	預り金	1,849	
固定負債			86,172
退職給付引当金			86,172
負債合計			586,048
差引正味財産			3,326,337

令和4事業年度保健医療情報会計 情報基盤運用勘定貸借対照表

(令和5年3月31日現在)

資 産 の 部				負 債 ・ 資 本 の 部			
区 分	注記 番号	金 額		区 分	注記 番号	金 額	
千円				千円			
(資産の部)				(負債の部)			
I 流動資産				I 流動負債			
1 現金及び預金		3,740,711		1 未払金		474,381	
2 未収負担金		106,824		2 賞与引当金		20,633	
3 その他の流動資産		5,017		3 その他の流動負債		4,861	
流動資産合計		3,852,553		流動負債合計		499,876	
II 固定資産				II 固定負債			
1 有形固定資産				退職給付引当金		86,172	
(1) 建物附属設備		3,196		固定負債合計		86,172	
減価償却累計額		△ 350	2,846	負債合計		586,048	
(2) 工具器具備品		429					
減価償却累計額		△ 85	343	(資本の部)			
有形固定資産合計			3,189	利益剰余金			
2 無形固定資産				1 任意積立金			
ソフトウェア			35,799	別途積立金		3,838,856	
無形固定資産合計			35,799	2 当期末処理損失		512,518	
3 投資その他の資産				利益剰余金合計		3,326,337	
(1) 前払年金費用			9,145	資本合計		3,326,337	
(2) 敷金・保証金			11,696				
投資その他の資産合計			20,842				
固定資産合計			59,831				
資産合計			3,912,385	負債・資本合計		3,912,385	

令和4事業年度保健医療情報会計
情報基盤運用勘定損益計算書

(自 令和4年4月 1日)
(至 令和5年3月31日)

区 分	注記 番号	金 額	金 額
		千円	千円
〔経常損益の部〕			
(業 務 損 益 の 部)			
I 業 務 収 益			
負担金収入		1,679,638	1,679,638
II 業 務 費 用			
1 給 与 手 当		180,494	
2 賞 与		36,860	
3 賞与引当金繰入額		20,633	
4 退職給付費用		16,792	
5 法定福利費		37,338	
6 保 守 料		1,227,169	
7 委 託 費		260,826	
8 修 繕 費	※1	238,303	
9 共同運営調整金支出		98,066	
10 その他の業務費用		75,965	2,192,450
業 務 損 失			512,812
(業 務 外 損 益 の 部)			
業 務 外 収 益			
1 受 取 利 息		14	
2 有 価 証 券 利 息		278	293
経 常 損 失			512,518
当 期 純 損 失			512,518
当 期 未 処 理 損 失			512,518

令和4事業年度保健医療情報会計
情報基盤運用勘定キャッシュ・フロー計算書

(自 令和4年4月 1日)
(至 令和5年3月31日)

区 分	注記 番号	金 額
		千円
I 業務活動によるキャッシュ・フロー		
負担金収入		1,656,442
預り情報提供手数料収入		71,010
預り機関別符号情報提供手数料収入		9,159
人件費の支出		△ 292,981
その他の業務支出		△ 1,610,002
預り情報提供手数料支出		△ 71,010
預り機関別符号情報提供手数料支出		△ 9,159
小 計		△ 246,541
利息の受取額		293
業務活動によるキャッシュ・フロー		△ 246,248
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出		△ 41,784
定期預金の払戻による収入		41,784
譲渡性預金の預入による支出		△ 2,934,343
譲渡性預金の払戻による収入		2,934,343
無形固定資産の取得による支出		△ 50,749
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 50,749
III 財務活動によるキャッシュ・フロー		
財務活動によるキャッシュ・フロー		—
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額		—
V 現金及び現金同等物の増減額		△ 296,998
VI 現金及び現金同等物の期首残高		4,037,710
VII 現金及び現金同等物の期末残高	※1	3,740,711

令和4事業年度保健医療情報会計 情報基盤運用勘定損失処理計算書

(令和5年6月26日)

区 分	金 額
I 当期未処理損失	512,518,955
II 損失処理額	
任意積立金取崩額	
別途積立金取崩額	512,518,955
III 次期繰越損失	0

重要な会計方針

期 別	当会計期間 (自 令和4年4月 1日) (至 令和5年3月31日)				
項 目					
1. 固定資産の減価償却の方法 有形固定資産	<p>定額法によっております。</p> <p>なお、主な耐用年数は、以下のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 70%;">建物付属設備</td> <td style="text-align: right;">12～15年</td> </tr> <tr> <td>工具器具備品</td> <td style="text-align: right;">6年</td> </tr> </table>	建物付属設備	12～15年	工具器具備品	6年
建物付属設備	12～15年				
工具器具備品	6年				
2. 引当金の計上基準					
(1) 賞与引当金	<p>職員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額に基づき当期に見合う分を計上しております。</p>				
(2) 退職給付引当金	<p>職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。</p> <p>ア 退職給付見込額の期間帰属方法</p> <p>退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当期末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。</p> <p>イ 過去勤務費用及び数理計算上の差異の費用処理方法</p> <p>過去勤務費用については、職員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（11年）による定額法により按分した額を、発生時から費用処理しております。</p> <p>数理計算上の差異については、職員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（11年）による定額法により按分した額を、それぞれ発生の翌期から費用処理しております。</p>				

期 別	当会計期間
項 目	（自 令和4年4月 1日） （至 令和5年3月31日）
3. 収益及び費用の計上基準	<p>「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号2020年3月31日）等を適用し、約束したサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該サービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識しております。</p> <p>負担金収入 負担金収入は中間サーバー等及びオンライン資格確認等の運營業務の対価であり、当基金は保険者等との契約に基づいて中間サーバー等及びオンライン資格確認等の運営を行う履行義務を負っております。</p> <p>負担金収入は契約期間にわたって履行義務が充足されると判断し、当該期間に渡って収益を認識しています。</p>
4. キャッシュ・フロー計算書 における資金の範囲	<p>手許現金、要求払預金及び取得日から3ヶ月以内に満期日の到来する流動性の高い、容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない短期的な投資からなっております。</p>
5. その他財務諸表作成のための 重要な事項 消費税等の会計処理	<p>消費税等の会計処理は税抜方式によっております。</p>

表示方法の変更

(損益計算書関係)

当会計期間 (自 令和4年4月 1日) (至 令和5年3月31日)
※1 前事業年度において「業務費用」の「その他の業務費用」に含めておりました「修繕費」(前事業年度123千円)は、金額的重要性が増したため、当事業年度より独立掲記しております。

注記事項

(キャッシュ・フロー計算書関係)

当会計期間末 (令和5年3月31日現在)
※1 現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲載されている科目の金額との関係
現金及び預金 千円
<u>3,740,711</u>
現金及び現金同等物
3,740,711

(退職給付関係)

1. 採用している退職給付制度の概要

当支払基金は、職員の退職給付に充てるため、積立型、非積立型の確定給付型制度を採用しております。

企業年金基金制度（積立型制度であります。）では、給与と加入期間に基づいた年金又は一時金を支給します。

退職一時金制度（非積立型制度であります。）では、退職給付として、給与と勤務期間に基づいた一時金を支給します。

2. 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

期首における退職給付債務	△ 133,464	千円
勤務費用	△ 17,158	
利息費用	△ 667	
数理計算上の差異の当期発生額	△ 14,866	
退職給付の支払額	12,960	
期末における退職給付債務	△ 153,196	

3. 年金資産の期首残高と期末残高の調整表

期首における年金資産	50,366	千円
期待運用収益	1,410	
事業主からの拠出額	3,215	
数理計算上の差異の当期発生額	10,214	
退職給付の支払額	△ 7,579	
期末における年金資産	57,627	

4. 退職給付債務及び年金資産と貸借対照表に計上された退職給付に係る負債及び資産の調整表

イ. 積立型制度の退職給付債務	△ 61,566	千円
ロ. 年金資産	57,627	
ハ. 非積立型制度の退職給付債務	△ 91,629	
ニ. 未積立退職給付債務（イ＋ロ＋ハ）	△ 95,568	
ホ. 未認識過去勤務費用	—	
ヘ. 未認識数理計算上の差異	18,542	
ト. 貸借対照表計上純額（ニ＋ホ＋ヘ）	△ 77,026	
チ. 前払年金費用	9,145	
リ. 退職給付引当金（トーチ）	△ 86,172	

5. 退職給付に関連する損益

勤務費用	15,617	千円
利息費用	667	
期待運用収益	△ 1,410	
過去勤務費用の当期の費用処理額	—	
数理計算上の差異の当期の費用処理額	1,917	
退職給付費用	16,792	

(注) 企業年金基金に対する職員拠出額を控除しております。

6. 年金資産の主な内訳

債券	57.0%
株式	30.2%
その他	12.8%
合計	100.0%

7. 長期期待運用収益率の設定方法に関する記載

年金資産の長期期待運用収益率を決定するため、現在及び予想される年金資産の配分と、年金資産を構成する多様な資産からの現在及び将来期待される長期の収益率を考慮しております。

8. 数理計算上の計算基礎に関する事項

期末における主要な数理計算上の計算基礎	
割引率	0.5%
長期期待運用収益率	2.8%